

都市計画総務事務事業

部名/課名/係名 都市建設部 / まちづくり推進課 / 都市計画係

1 基本分類

総合計画コード

5111~5623

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市計画法 朝霞市都市計画
 審議会条例 朝霞市都市計画
 審議会規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

本市の都市計画の内容及びその決定手続、都市計画制限、都市計画事業等に関し必要な事項を定め、その調査審議及び提言等が適正に行われることにより、都市の健全な発展と秩序ある整備が図られている。

事業内容【継続】

朝霞市都市計画マスタープランのまちづくりの将来像の実現に向け計画を推進するとともに、都市計画審議会の開催等により都市計画の総務管理を執行する。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

・都市計画審議会を3回開催し、今年度中に審議し決定すべき案件は全て議決した。
 ・官民連携まちなか再生の推進のため、朝霞駅周辺エリアにおいてエリアプラットフォームをつくり（会議6回開催）、実証実験としてアサカストリートテラスを開催するなどして、エリアの将来像及び未来ビジョンの検討を進めた。
 ・居心地が良く歩きたくなるまちなかに向けて、市内数か所にベンチを設置した。持続可能な都市経営に向けて、立地適正化計画策定に着手した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 都市計画審議会の開催	回	4 (3)	4 (2)	4 (3)	4 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 都市計画審議会での議案審議	-	議決 (議決)	議決 (議決)	議決 (議決)	議決 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	89,776	79,536	102,503	千円
人件費	16,965	13,575	17,037	千円
総計	106,741	93,111	119,540	千円

【財源内訳】一般財源95,482千円、国庫支出金5,000千円、県支出金2,013千円、その他8千円
 【執行内訳】委員報酬384千円、報償費90千円、旅費203千円、需用費477千円、役務費58千円、委託料22,130千円、使用料及び賃借料1,217千円、負担金、補助及び交付金177千円、償還金、利子及び割引料77,474千円、寄附金293千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定 ○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地	<input type="checkbox"/> 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
	<input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

・引き続き、都市計画マスタープランのまちづくりの将来像の実現に向けて計画を推進するとともに、都市計画審議会を開催し適正に運営していく。都市計画審議会は、公募市民の枠を設け市民の視点から意見を伺うようにする。また、ウォーカブル推進都市として、ベンチの設置や公共空間の有効活用などにより、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進する。
 ・官民連携によるまちづくりを推進するとともに、今後の人口減少や超高齢化社会に対応する持続可能な都市経営に向けて、立地適正化計画を策定する。
 ・国道254号バイパス周辺については、沿道利用の活性化に向けて、内間木公園拡張整備等庁内検討委員会において検討を進める。
 ・長期にわたり未整備となっている都市計画道路は必要性等の検証を行い、見直しの検討を行う。

道路用地取得事業

部名/課名/係名 都市建設部 / 道路整備課 / 用地係

1 基本分類

総合計画コード
5111,5211,5213,5612

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

公有地拡大の推進に関する法律 朝霞市土地開発基金取扱事務要綱 朝霞市土地開発公社定款

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路・歩道用地の取得により道路環境の整備工場を図ることによって、市民生活の利便性が向上している。

事業内容【継続】

土地の不動産鑑定や建物等の補償積算に基づき、土地地権者との用地交渉を行う。
土地売買契約の締結、朝霞市へ名義変更するための所有権移転登記、必要に応じた土地開発基金の運用及び所得税画定申告に対する証明等を行う。
土地開発公社の運営事務
公拡法の受付・処理事務

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

土地売買契約：18件
買収面積：約1,434平方メートル(28筆)

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 用地買収交渉回数	回	50 (50)	50 (54)	50 (60)	R 7 年度
	② 名義変更登記回数	回	25 (25)	25 (31)	25 (38)	R 7 年度
成果	① 用地契約筆数	筆	40 (16)	40 (42)	40 (28)	R 7 年度
	② 用地契約面積	m ²	1,000 (1,553)	1,000 (824)	1,000 (1,434)	R 7 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	251,660	15,257	218,993	千円
人件費	16,290	16,290	16,558	千円
総計	267,950	31,547	235,551	千円
				【財源内訳】一般財源 218,993千円
				【執行内訳】 旅費 8千円
				需用費 17千円
				役務費 6,600千円
				委託料 16,225千円
				公有財産購入費 196,133千円
				負担金、補助及び交付金 10千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

朝霞市道路整備基本計画に基づき用地取得を進めている。
相続などの理由から買取申出が提出されることが多く、その対応も行う。
朝霞市土地開発基金を適切に運用していく。

シンボルロード管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5123,5611,5612

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

シンボルロードが、緑に囲まれた「憩いと交流の拠点」として、市民に利用されている。

事業内容【継続】

シンボルロードの維持管理及び機能向上等。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・シンボルロードの維持管理
- ・シンボルロード施設維持管理
- ・シンボルロードイルミネーション管理

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 管理運営を考える会議の開催	回	0 (0)	4 (0)	4 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 施設等の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	24,416	30,540	千円
人件費	0	4,266	3,786	千円
総計	0	28,682	34,326	千円

【財源内訳】・一般財源 30,540千円
 【執行内訳】・報償費 240千円
 ・需用費 1,000千円
 ・委託費 29,300千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

シンボルロードについて子どもから高齢者まで幅広い年代の市民の憩いの場として、安全で快適に利用できるように、市が適切に維持管理を行う。

基地跡地公園・シンボルロード整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

／みどり公園課

／みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5123,5511,5512

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

基地跡地公園・シンボルロードが整備され、緑に囲まれた「憩いと交流の拠点」として、市民に利用されている。

事業内容 【継続】

朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画に基づき、計画的な基地跡地の公園・シンボルロードの整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

今後の基地跡地の整備内容についての具体的な検討は進んでいない。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 検討委員会の開催	回	-	-	-	-
			(-)	(-)	(-)	R 7 年度
成果	② シンボルロードの整備	-	整備	完了	-	-
			(整備)	(完了)	(-)	R 7 年度
成果	① 基地跡地公園・シンボルロード整備 基本計画策定	-	-	-	-	-
			(-)	(-)	(-)	R 7 年度
成果	② シンボルロードの活用	-	供用開始	-	-	-
			(供用開始)	(-)	(-)	R 7 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	216,255	33,894	0	千円
人件費	10,084	388	0	千円
総計	226,339	34,282	0	千円

【財源内訳】
【執行内訳】

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの 余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

市の中心部に残された貴重な自然を有効に保全、活用することは大切である。これまで供用を開始した区域の整備内容や活用状況、市民のニーズ、社会情勢等の変化に応じて、今後の進め方等について関係機関と協議をしていく。

基地跡地暫定利用事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5123,5323

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

子どもからお年寄りまで幅広く、多くの市民が、基地跡地の暫定利用地（3ヘクタール）を多目的広場として有効に活用している。

事業内容【継続】

基地跡地暫定利用広場の施設管理を行い、市民への利用促進を図る。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・清掃をシルバー人材センター、除草・樹木管理は専門業者に委託
- ・冒険遊び場づくりをNPO法人朝霞プレーパークの会に委託
- ・除草やヒコバエ処理等の一部をボランティアで市民が管理

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 朝霞の森運営会議の開催	回	2 (2)	2 (1)	2 (1)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 来場者数	人	53,000 (71,000)	55,000 (59,000)	55,000 (90,000)	55,000 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	10,081	10,833	10,520	千円
人件費	4,654	3,491	3,786	千円
総計	14,735	14,324	14,306	千円

【財源内訳】・一般財源 10,520千円
 【執行内訳】・需用費 639千円
 ・委託料 9,881千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

市の中心的な場所に残された貴重な緑を活かすため、管理を委託している業者やボランティア団体と連携を図りながら広場の除草や樹木の管理を行う。

基地跡地整備基金積立事業

部名/課名/係名

市長公室

/ 政策企画課

/ 政策企画係

1 基本分類

総合計画コード

5123

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市基地跡地整備基金条例
 朝霞市基地跡地利用計画書

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

基地跡地を整備する財源となっている。

事業内容【継続】

基地跡地整備基金の運用利息の積立を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

基地跡地整備基金の運用利息の積立てを行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 基金利子積立額	千円	1,459 (7,706)	1,459 (2,291)	1,939 (5,000)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 年度末残高	千円	320,781 (207,809)	321,728 (206,407)	211,207 (211,407)	218,963 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	7,706	2,291	5,000	千円
人件費	388	1,164	2,650	千円
総計	8,094	3,455	7,650	千円

【財源内訳】 その他 5,000千円
 【執行内訳】 積立金 5,000千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

基地跡地の土地を取得して整備を行う場合、多額の費用が見込まれることから、積み立てを計画的に行うことが望ましい。

基地対策事業

部名/課名/係名

市長公室

/ 政策企画課

/ 政策企画係

1 基本分類

総合計画コード

5123,6541

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

市民からの意見などを国に伝え、また、問題解決に向けて国の関係機関等へ要望することにより、市民が安全安心に暮らしている。

事業内容【継続】

自衛隊に関する情報収集及び連絡調整を図る。
埼玉県基地対策協議会、全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会への加入及び要望活動を実施する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

埼玉県基地対策協議会、全国基地協議会及び全国防衛施設周辺整備協議会を通じて、国の関係機関等へ要望活動を実施した。また、陸上自衛隊朝霞駐屯地等における訓練などの実施状況、日米共同方面隊指揮所演習の動向等について把握に努めた。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 基地対策事業に関する要望活動等の実施回数	回	3 (4)	3 (4)	3 (5)	R 7 年度
	②					R 年度
成果	① 自衛隊の訓練等による騒音や振動に対する苦情件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②					R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	29	19	0	千円
人件費	1,939	1,551	3,029	千円
総計	1,968	1,570	3,029	千円

【財源内訳】一般財源 0円
 【執行内訳】 役務費 0円
 ※当初予算に計上していた全国基地協議会分担金11千円、防衛施設周辺整備全国協議会分担金7千円は徴収しないことが、令和3年8月の全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同定期総会で決定された。

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

関係機関と連絡調整を行うとともに、地元自治体への情報提供や事故防止等の安全管理を徹底し、周辺住民に不安を与えることがないよう、国への要望を引き続き実施する。

駅前広場管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 朝霞駅前広場条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

駅前広場が清潔に清掃され、広場利用者が快適に利用できている。

事業内容 【継続】

北朝霞駅、朝霞台駅、朝霞駅前広場の清掃等の維持管理。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

駅前広場、公衆トイレの清掃等を毎日実施した。また2週間に1回、鳩の糞や地下道の清掃を重点的に実施した。駅前広場内の施設の修繕を適切に実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 駅前広場清掃維持管理		適切に管理 (適切に管理した)	適切に管理 (適切に管理した)	適切に管理 (適切に管理した)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 駅前広場に関する苦情件数	件	- (-)	3 (2)	3 (4)	3 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	29,267	30,200	30,850	千円
人件費	5,042	4,654	4,165	千円
総計	34,309	34,854	35,015	千円

【財源内訳】 その他 30,850千円
 【執行内訳】 需用費 6,953千円、委託料 23,897千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

駅前広場を常に良好な状態に保つため必要な事業である。今後についても清掃など、効率的な方法を研究していく。ウォークアブル推進都市として、歩行空間の快適性向上を目指し、居心地がよく歩きたくなるまちなかづくりを推進していく。

交通安全啓発推進事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市道路反射鏡設置工事補助金交付要綱 道路運送車両法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

交通安全意識の高揚を図るため、広報活動等の交通安全運動を積極的に推進するとともに、幼児から高齢者までのそれぞれに適切な教育指導をすることにより交通事故が減少している。

事業内容【継続】

春、夏、秋、冬の交通安全街頭活動。小学校に交通安全作品の募集、表彰。交通安全啓発看板の作成配置。市内小学4年生を対象に自転車免許証交付の為の実地指導、高齢者の自転車・歩行コンクールの実施。交通関係団体の事務局、各団体への補助金の交付。私道利用者の道路反射鏡設置に係る補助金の交付。道路運送車両法及び道路運送車両法施行規則の規定による臨時運行許可証（仮ナンバー）の発行。市町村交通災害共済保険加入の窓口受付（申請・請求）

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

交通安全啓発活動を実施（春・夏・秋・冬）。
 小学校4年生を対象に自転車安全運転実地指導を実施。
 保育園、幼稚園児を対象に交通安全教室を実施。
 防災フェアに交通安全ブースを出展し、交通安全や飲酒運転撲滅等の啓発を実施。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 交通安全街頭活動回数	回	4 (3)	4 (0)	4 (1)	R 7 年度
	② 交通安全教室実施回数	回	42 (46)	42 (30)	42 (48)	R 7 年度
成果	① 年間交通事故発生件数（人身事故）	件	300 (286)	290 (248)	285 (272)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	4,257	4,103	4,718	千円
人件費	5,042	6,206	6,436	千円
総計	9,299	10,309	11,154	千円

【財源内訳】一般財源 4,193千円 その他 525千円
 【執行内訳】報酬 1,447千円 報償費 110千円
 旅費 100千円 需用費 1,488千円
 役務費 46千円 負担金、補助及び交付金 1,522千円
 公課費 5千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

引き続き、朝霞警察署等の関係機関と連携し、各種交通安全啓発活動を実施していく。

道路施設維持管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5412

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 屋外広告物法 埼玉県屋外広告物条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路占用許可、道路工事施工承認等が適正に処理され、住民の新築、改修等において円滑に工事を施工することができている。また、道路及び側溝等を清掃することにより雨天時の道路表面水の排水を促し、道路冠水の抑制をはかる。

事業内容【新規】

道路占用許可、道路工事施工承認等の事務及び道路の側溝清掃、違反広告物撤去。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

道路占用許可や道路工事施工承認申請等が適正に処理することができた。
 住民の要望等に基づき道路及び側溝等の清掃を適切に実施し、雨天時の道路表面水の排出を促した。
 災害時の通行止め対応等が迅速にできるよう道路に監視カメラを設置した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路清掃等実施件数	件	70 (60)	70 (62)	70 (63)	R 7 年度
	② 道路占用許可他事務件数	件	1,000 (2,019)	1,000 (1,457)	1,500 (1,798)	R 7 年度
成果	① 道路維持管理要望に対する現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	R 7 年度
	② 道路占用許可他申請から許可までの日数	日	10 (14)	10 (14)	14 (14)	R 7 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	17,358	22,158	25,093	千円
人件費	7,369	8,145	7,572	千円
総計	24,727	30,303	32,665	千円

【財源内訳】 その他 25,093千円
 【執行内訳】 需用費 1,226千円、委託料 21,966千円、使用料及び賃借料 1,901千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

● 拡充 ○ 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

側溝清掃、道路清掃等の業務を適切に実施している。令和3年度に市内の冠水箇所監視カメラを設置した。それにより適切な時期に適切な人材を現場に向かわせることが出来るようになった。

道路施設修繕事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5124,5221,5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

道路法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

緊急修繕が確実に行われ、住民は安全に通行できている。

事業内容【継続】

道路の緊急修繕及び小規模な修繕を行う。（パトロール又は住民からの通報により、緊急に修繕が必要な場所を発見し修繕を行う）

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

住民等からの要望やパトロールで発見した道路の小規模不具合箇所について、適切に対応することができた。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路修繕工事施工件数	件	190 (138)	190 (134)	180 (150)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路修繕要望に対する現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	68,569	73,735	83,000	千円
人件費	9,308	7,757	7,572	千円
総計	77,877	81,492	90,572	千円

【財源内訳】 その他 80,050千円 一般財源 2,950千円
【執行内訳】 工事請負費 83,000千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

道路の損傷や陥没などで交通事故につながる恐れがある情報を把握した場合には、早急に対応し、事故を未然に防いでいる。
道路環境の整備に当たっては、地域特性に応じた車道、沿道空間と一体となった歩道、街路樹、ポケットパーク（休憩場所）などについて、グリーンインフラの手法も検討するなど、整備、維持、管理に努めます。

道路台帳整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法第28条

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路台帳が適切に整備され、住民が信頼できる道路境界等の管理ができています。

事業内容 【継続】

道路台帳の整備

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

境界査定等で確定した場所や、新たに道路整備した場所の補正を確実に実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路台帳補正		適正に整備 (適正に整備した)	適正に整備 (適正に整備した)	適正に整備 (適正に整備した)	適正に整備 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路台帳補正箇所実施率	%	100 (100)	80 (80)	80 (100)	90 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	14,842	16,568	16,379	千円
人件費	1,551	2,327	2,272	千円
総計	16,393	18,895	18,651	千円

【財源内訳】一般財源 16,379千円
 【執行内訳】委託料 16,379千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

台帳整備の業務委託は、入札にて適切に業務を行っている。今後、第5次行政改革の進捗を踏まえ、DXを活用し台帳の電子化や道路台帳写し交付事務の簡素化を図りたい。

放置自転車対策事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5213

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市自転車等放置防止条例 朝霞市自転車等放置防止条例施行規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

駅周辺の放置自転車禁止区域内の放置自転車を撤去することにより、歩行者が安全に移動できている。

事業内容【継続】

放置自転車の指導・撤去を実施し、指定日（返却日）、保管場所で撤去した自転車を返却する。保管期限（約3か月）を過ぎた自転車等は処分する。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

放置自転車等撤去 25回（自転車106台・バイク1台）
 放置自転車等返還 151日（自転車44台・バイク0台）
 放置自転車処分 0回（自転車0台）
 放置自転車リサイクル 0回（自転車0台）

※（ ）内は令和4年2月末現在

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 放置自転車等の指導日数	日	102 (97)	102 (95)	102 (95)	R 7 年度
	② 放置自転車等の撤去回数	回	25 (33)	25 (25)	25 (25)	R 7 年度
成果	① 放置自転車等の撤去台数	台	490 (369)	480 (156)	150 (120)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	11,537	11,468	11,557	千円
人件費	6,206	5,818	3,029	千円
総計	17,743	17,286	14,586	千円

【財源内訳】一般財源 11,232千円 その他 325千円
 【執行内訳】需用費 189千円 役務費 14千円
 委託料 8,910千円 使用料及び賃借料 2,444千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

○ 拡充 ○ 継続 ● 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

本市におけるシェアサイクルの普及により、放置自転車の撤去台数が大幅に減少していることから、令和4年度より放置自転車対策指導の人員と返還実施日の縮減を実施する。

今後においても、更なる縮減、業務の効率化のほか、放置自転車保管場所のあり方についても検討する。

歩道整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5213,5211,5212,5221,
5231,5622

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 朝霞市が管理する市道の構造等の基準に関する条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

歩車道を分離することにより、歩行者などが安全に通行できている。

事業内容【継続】

歩行者等の安全を確保するため、歩道の新設や歩道拡幅整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・市道8号線歩道築造工事
- ・市道15号線歩道築造工事
- ・市道2002号線歩道築造工事

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 歩道整備延長	m	100 (192)	100 (96)	85 (87)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 歩道整備率	%	100 (192)	100 (96)	100 (102)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	16,514	10,533	11,356	千円
人件費	3,103	4,654	3,029	千円
総計	19,617	15,187	14,385	千円

【財源内訳】一般財源1,156千円 地方債10,200千円
 【執行内訳】工事請負費11,356千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

歩道築造工事は適切な方法で、業務を実施した。今度についても、用地を取得した箇所から順次、歩道築造工事を実施していく。ウォークブル推進都市として、歩行空間の快適性向上を目指し、グリーンインフラの整備に加え、道路など公共空間を有効活用（ベンチの設置）するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなづくりを推進していく。

駅東通線整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

都市計画法 地方財政法 社会資本整備総合交付金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

児童・生徒など歩行者の安全性を確保するため事業用地を取得し、取得した事業用地の適正な維持管理を行う。

事業内容 【 継続 】

事業認可となっている延長約210m区間の整備ができるよう地権者と用地交渉を行い、事業用地を取得する。事業用地の適正な管理を行うため、木柵の修繕と除草を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・事業用地の維持管理（除草作業 2回/年）
- ・取得した事業用地の仮歩道内に車止めポール設置及び補修工事
- ・取得した事業用地に防草シート設置工事

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 用地取得面積	㎡	1,548.23	1,979.50	1,979.50	3,117.73
			(2,010.60)	(2,441.86)	(2,441.86)	R 7 年度
成果	① 用地取得率	%	58.3	74.5	78.3	100.00
			(64.5)	(78.3)	(78.3)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	3,956	189,200	278,847	千円
人件費	3,016	5,042	3,786	千円
総計	6,972	194,242	282,633	千円
				【財源内訳】一般財源 185,147千円 地方債 93,700千円
				【執行内訳】委託料 251千円 工事請負費 2,926千円 公有財産購入費 275,670千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

・令和7年度の事業完了を目指して、引き続き用地買収や建物補償業務を行っていく。

岡通線整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221、5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市計画法 地方財政法 社会資本整備総合交付金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

全長4,240mの岡通線を整備することにより、県道和光志木線などの幹線道路の渋滞の緩和や交通の安全、利便性の向上が図られている。

事業内容【継続】

宮戸工区（朝霞浄水場付近～旧宮戸交番交差点の前後）については、埼玉県施行により整備を行う。市は街路事業負担金として、事業費の1/5を負担する。

事業認可を取得した根岸台6丁目地区延長198m区間の整備ができるよう地権者と用地交渉を行い、事業用地を取得する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・事業用地の取得（契約 住宅 4件）
- ・取得した事業用地の維持管理（木柵修繕、除草 1回/年）
- ・取得した事業用地の仮歩道と既存市道の段差解消工事

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 整備延長	m	1,645	1,970	2,010	2,208
			(1,645)	(1,645)	(1,645)	R 7 年度
成果	① 整備率	%	38.7	38.7	38.7	52.1
			(38.7)	(38.7)	(38.7)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	2,584	14,470	3,256	千円
人件費	4,901	9,696	13,630	千円
総計	7,485	24,166	16,886	千円
				【財源内訳】一般財源 3,256千円
				【執行内訳】需用費 47千円
				役務費 1,137千円
				委託料 1,243千円
				工事請負費 389千円
				負担金、補助及び交付金 440千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

県施行の宮戸工区の事業の早期完了のために、引き続き埼玉県に協力するとともに宮戸工区の事業費の負担を行う。

また、令和7年度までに根岸台6丁目地区の事業完了を目指し、引き続き用地買収や建物補償業務を行っていく。認可区間の延伸に向けて事業計画を検討する。

志木和光線整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221、5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

整備の緊急性が高い国道254号バイパスについて、適切な財政措置が講じられるよう国や県に要望を行い、道路の早期完成が図られている。

事業内容【継続】

県の要請により用地買収への協力をする他、一般国道254号和光川越間バイパス建設促進期成同盟会へ参加し、会を通じて国等へ建設促進要望を実施する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

県：国道463号線（浦和所沢バイパス）交差点部の立体交差橋から志木市内に向かって道路整備
 第2期区間のうち、朝霞市区間の予備設計を進める
 市：事業の早期完了のために国や県に対して要望活動を実施

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 国への要望活動件数（累計）	件	18 (18)	19 (19)	20 (20)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 整備延長	km	2.56 (2.56)	2.56 (2.56)	2.56 (2.56)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	0	0	千円【財源内訳】
人件費	377	776	757	千円【執行内訳】
総計	377	776	757	千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

国道254号バイパス（志木和光線）周辺については、沿道利用の活性化に向けて、内間木公園拡張整備等検討委員会において検討を進める。

私道整備助成事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市私道整備事業補助金
交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

私道の整備が促進されることで、地域における生活環境と利便性の向上をはかる。

事業内容【継続】

私道の舗装工事等の整備に対する費用の一部を助成する。
補助要件を満たした私道に対して、2/3以内（上限500万円）の補助金を交付する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

複数の相談は来ているが、費用や所有者全員の同意がネックとなり、今年度は実施に至らないことが多かったが、事業のご案内は適宜行っており、制度の浸透は進んでいると考える。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 私道整備事業補助件数	件	1 (2)	1 (2)	2 (0)	3 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 私道整備要望達成率	%	- (-)	- (100)	75 (0)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	1,731	7,873	0	千円
人件費	1,551	1,551	1,136	千円
総計	3,282	9,424	1,136	千円

【財源内訳】一般財源 0千円
【執行内訳】負担金、補助及び交付金 0千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

令和元年度より補助要件に災害時に避難の円滑化に資すると認められる整備（スロープや手すりの設置等）も追加した。
今後においても、社会情勢や市民のニーズを取り入れながら事業内容を見直していく必要がある。

事業用地維持管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221、5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

事業用地取得のための代替地等について適正な維持管理を行う。

事業内容【継続】

駅西口富士見通線代替地（281.49㎡）を維持管理する。
 駅西口富士見通線内の広場（71.94㎡）を維持管理する。
 本町1号線事業用地145.47㎡を維持管理する。
 朝霞駅前代替地111.72㎡を維持管理する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

・駅西口富士見通線内の広場（71.94㎡）の維持管理（除草等）

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 事業用地の維持管理（除草の件数）	件	1 (1)	1 (0)	1 (1)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 除草達成率	%	100 (100)	100 (0)	100 (100)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	21	0	66	千円
人件費	754	776	1,136	千円
総計	775	776	1,202	千円

【財源内訳】一般財源 66千円
 【執行内訳】委託料 66千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

今後も公共事業の代替用地として適正に維持管理を実施する。

道路改良事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5111,5211,5212,
5213,5231,5413,5612,
5613

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 朝霞市が管理する市道の構造等の基準に関する条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路拡幅整備の充実を目指し、安全で円滑な通行ができています。

事業内容 【継続】

生活道路の安全と環境の整備を図るため、道路拡幅整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・市道8号線道路改良工事設計業務委託 他1件の設計業務委託
- ・市道2354号線道路改良工事
- ・市道2354号線道路改良工事に伴う電柱等移設の補償金

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路改良工事延長	m	100 (703)	85 (110)	80 (82)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路改良整備率	%	100 (703)	100 (129)	100 (103)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	128,569	12,938	21,874	千円
人件費	8,533	3,103	6,058	千円
総計	137,102	16,041	27,932	千円

【財源内訳】一般財源2,374千円、地方債19,500千円
 【執行内訳】委託料9,284千円、工事請負費12,548千円
 補償、補填及び賠償金42千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

道路改良工事設計や道路改良工事、共に適切な方法で業務を実施した。今度についても、用地を取得した箇所から順次、改良工事を実施していく。

道路橋梁総務事務事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

課の総務的な事務を滞りなく行うことによって、各事業が計画的かつ効率的に実施できている。

事業内容 【継続】

課内調整事務（旅費・共通消耗品・公用車の管理）
 各種保険料の加入・支払手続き

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

消耗品の購入や公用車の維持管理、各種保険料の支払いなどの課の総務的な事務を滞りなく進めることができている。苦情や要望現場に出動する際に道路のパトロールも兼ねて実施している。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 職員のパトロール回数	回	-	120	120	130
			(-)	(160)	(160)	R 7 年度
成果	① 道路賠償責任保険対応件数	件	0	0	0	0
			(3)	(5)	(3)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	4,973	5,585	5,878	千円
人件費	5,818	4,654	5,679	千円
総計	10,791	10,239	11,557	千円

【財源内訳】一般財源 733千円、その他 5,145千円
 【執行内訳】旅費 30千円、需用費 1,276千円、役務費 925千円
 使用料及び賃借料 3,597千円、負担金・補助金及び交付金 50千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの
 余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

自動車燃料、諸保険、自動車借り上げ等、固定的な経費となる。引き続き経費の抑制に努めながら、計画的に事務を行う。

道路舗装事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5221

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 朝霞市が管理する市道の構造等の基準に関する条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路舗装を進めることにより、安全に通行できている。

事業内容 【継続】

傷んだ路面を舗装する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・市道1号線舗装改修工事 ・市道2号線舗装改修工事
- ・市道4号線舗装改修工事 ・市道16号線他舗装改修工事
- ・市道22号線舗装改修工事

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 舗装面積	㎡	2,000 (13,630)	2,000 (14,671)	7,850 (10,330)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 舗装整備率	%	100 (682)	100 (734)	100 (132)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	170,654	241,016	99,000	千円
人件費	4,654	10,860	8,329	千円
総計	175,308	251,876	107,329	千円

【財源内訳】一般財源9,900千円 地方債89,100千円
 【執行内訳】工事請負費99,000千円

3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

朝霞市道舗装修繕計画を基に適切な方法で業務を実施した。今後においても、舗装の傷みなど状況を考慮して、適切に舗装工事を進めていく。

花と緑のまちづくり事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市道路美化活動団体制度実施要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路、駅前広場が美しく花と緑にあふれ、住民が気持ちよく通行できている。
 既設植樹帯へ確実に補植などが行われ、住民が緑の空間を通行できている。

事業内容【継続】

既設植栽の充実、維持管理、花プランターの設置。
 道路の植樹帯を点検し補植を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

市で管理している植樹帯や樹木の維持管理を適切に業務委託等の手法を用いて実施した。また、場所によっては市民のボランティアによって構成されている美化団体が除草や植栽を実施した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 除草、剪定件数	件	50 (61)	50 (60)	50 (67)	R 7 年度
	② 道路美化活動団体数	団体	20 (22)	21 (25)	22 (24)	R 7 年度
成果	① 除草、剪定要望現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	31,994	51,945	55,845	千円
人件費	3,879	4,266	5,300	千円
総計	35,873	56,211	61,145	千円

【財源内訳】 その他 5,170千円 一般財源 50,675千円
 【執行内訳】 需用費 363千円 委託料 55,482千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

除草、街路樹剪定等の業務に関して、適切に実施している。道路美化団体を積極的に募集し、市民による植樹帯の花植えや除草を手伝ってもらい、コストの削減につなげたい。
 街路樹管理計画の策定について検討を進める。

橋梁改修事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

朝霞市橋梁長寿命化計画に基づく改修を実施して、良好な管理の下に橋梁が利用されている。

事業内容【継続】

朝霞市橋梁長寿命化計画に基づき橋梁の改修工事を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・浜崎橋他改修工事（JR受託工事）を令和3年度から令和5年度にかけて施工中
- ・内間木橋撤去工事を令和3年度から令和5年度にかけて施工中

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修設計橋数	橋	1 (1)	1 (1)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 改修工事橋数	橋	1 (2)	1 (1)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	31,736	58,315	199,774	千円
人件費	4,654	9,308	9,086	千円
総計	36,390	67,623	208,860	千円

【財源内訳】一般財源199,774千円
 【執行内訳】委託料41,305千円、工事請負費157,080千円
 負担金、補助及び交付金1,389千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

浜崎橋他改修工事はJRと協定を結び工事を依頼している。今後におきましても、5年に一度の点検結果を踏まえ、市民の安全を第一に考えて計画的に橋梁改修を実施していく。

交通安全施設事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5231,5211,5233

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

交通安全施設が適切に整備され、市民が安全に通行できる。

事業内容【継続】

外側線・グリーンベルト等の新設、復旧を実施し通行帯を明確にする。
見通しの悪い交差点等に道路反射鏡を設置し、車両等の交通安全を確保する。
地点名標識、警戒標識等の設置、修繕。
歩道橋の維持管理、修繕。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

道路区画線（外側線等表示）7613.6m、グリーンベルト等のカラー表示421.2㎡、道路反射鏡設置13基
横断歩道橋長寿命化計画に基づき、歩道橋1橋の基本設計を実施。
千葉県八街市で発生した交通事故を受け、庁内関係部署並びに朝霞警察署等の関係機関と連携して実施した緊急安全点検結果を基に、次年度の対策実施箇所を選定するとともに、優先度が高い一部路線について前倒して交通安全対策工事を実施。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 外側線等路面表示・カラー舗装	m・㎡	8155m・110㎡ (6881.8m・460.4㎡)	8155m・110㎡ (18526.9m・1581.6㎡)	8155m・110㎡ (7613.6m・421.2㎡)	R 7 年度
	② 道路反射鏡設置数	基	30 (3)	30 (11)	30 (13)	R 7 年度
成果	① 年間交通事故発生件数（人身事故）	件	300 (286)	290 (248)	285 (272)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	68,593	185,766	19,800	千円
人件費	9,308	8,921	8,329	千円
総計	77,901	194,687	28,129	千円

【財源内訳】一般財源 19,300千円 国庫支出金 500千円
【執行内訳】需用費 1,897千円 役務費 26千円
委託料 3,607千円 工事請負費 14,270千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

令和4年度は、千葉県八街市の事故を受けて実施した緊急安全点検結果に基づく交通安全対策工事を順次実施する。
その他の交通安全対策についても、優先度と緊急性のバランスに配慮しながら事業を実施していく。

交通施策推進事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5232,5211,5234,5621,
5622

事業類型

ソフト事業

実施形態

-
- 市単独事業
-
-
- 委託等
-
-
- 連携・協働
-
-
- 補助・助成

法令等の義務付け

-
- 義務
-
-
- 義務と任意
-
-
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市ノンステップバス等導入促進費補助金交付要綱 朝霞市地域公共交通協議会条例 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

誰にも優しい公共交通機関の実現のため、関係機関に働きかけ、駅施設のバリアフリー化やノンステップバスの導入の促進及び地域特性に応じた地域公共交通網の形成が図られている。

事業内容【継続】

各鉄道に係る改善対策協議会を通じて、鉄道駅の安全性の確保、駅施設のバリアフリー化等の要望活動の実施。ノンステップバス導入のバス事業者に経費の一部を助成する。運転免許自主返納者の移動支援として市内循環バス回数券又は交通系ICカードを交付する。地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図るため地域公共交通協議会において協議を行うとともに、地域公共交通計画に基づき施策を推進する。公共交通空白地区の改善に向け、地域住民と協働で運行計画を作成する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

武蔵野線旅客輸送改善対策協議会、東武東上線改善対策協議会を通じ、JR東日本と東武鉄道に要望活動を行った。シェアサイクルの実証実験を継続して実施した。運転免許自主返納者への支援として、交通系ICカードまたは市内循環バス回数券を交付した。地域公共交通協議会を開催し、市民や関係機関と協働で地域公共交通計画の施策を推進した。

	指標名	単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 要望回数	回	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① ノンステップバス導入補助金交付台数	台	2 (2)	2 (0)	2 (0)	2 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	139,212	20,806	3,761	千円
人件費	10,472	10,084	6,058	千円
総計	149,684	30,890	9,819	千円

【財源内訳】一般財源 3,761千円
【執行内訳】報酬 264千円 旅費 79千円
負担金、補助及び交付金 18千円
扶助費 3,400千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの
余地

-
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
-
-
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
-
-
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
-
-
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
-
-
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
-
-
- その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

引き続き、武蔵野線旅客輸送改善対策協議会及び東武東上線改善対策協議会を通じて、鉄道の安全性の確保、駅施設のバリアフリー化等の要望活動を実施していく。朝霞台駅のバリアフリー化に向けて東武鉄道と連携し取り組んでいく。市民の多様な移動手段確保のため、シェアサイクル事業の実証実験を2024年3月まで継続する。地域公共交通計画に基づき、空白地区の改善等各種施策を推進する。

市内循環バス運営事業

部名/課名/係名

都市建設部

/まちづくり推進課

/交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5232,5234,5621

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市地域公共交通協議会
条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

通勤・通学の利便性の向上、公共施設の利用促進、路線バスが運行されていない地域の交通手段が確保できている。

事業内容【継続】

バス事業者3社と協定を締結し、運行に係る経費のうち運賃を除いた経費をバス事業者に助成することにより、市内循環バスを運行する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

運行概要

路線数（4路線、運行距離34.35km、バス停数70か所、運行数平日92本、休日76本）

乗車人数 予想値約322,000人、1日平均897人

（参考：令和2年度実績 291,774人、1日平均804人）

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 運行数（平日）	便	95 (83)	95 (83)	92 (92)	R 7 年度
	② 運行数（休日）	便	80 (69)	80 (69)	76 (76)	R 7 年度
成果	① 年間利用人数	人	407,000 (415,286)	415,000 (291,774)	288,000 (322,000)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	87,541	87,566	108,317	千円
人件費	4,266	4,654	4,922	千円
総計	91,807	92,220	113,239	千円

【財源内訳】一般財源 108,317千円
 【執行内訳】需用費 754千円
 委託料 77千円
 補償、補填及び賠償金 107,486千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの 余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

地域公共交通計画に基づき、市内循環バスの更なる利便性の向上や将来にわたって持続可能な運行計画の策定、路線バス初乗り運賃との均衡等について検討する。

自転車駐車場管理運営事業

部名/課名/係名

都市建設部

／まちづくり推進課

／交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5233

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市自転車駐車場設置及び管理条例 朝霞市自転車駐車場設置及び管理条例施行規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

駅周辺に整備した自転車駐車場等の適切な管理運営が行われ、市民が快適に利用している。

事業内容 【継続】

自転車駐車場等の維持管理に伴う業務委託、修繕業務、借地駐車場の更新手続き、利用者の途中解約に伴う還付業務。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

指定管理者と基本協定書及び年度協定書に基づき管理を実施した。

駅前自転車駐車場における慢性化する大型自転車のキャンセル待ちを解消し、子育て世代を支援するため、大型自転車臨時駐車場の運用を開始した（令和3年4月～）。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 自転車駐車場等整備、維持管理箇所数	箇所	10 (10)	10 (10)	10 (10)	10 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 利用率（定期利用者）	%	100 (92.0)	100 (81.5)	100 (80.0)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	263,234	283,697	273,235	千円
人件費	9,308	6,206	5,679	千円
総計	272,542	289,903	278,914	千円

【財源内訳】一般財源 15,810千円 その他 257,425千円
 【執行内訳】需用費 40千円 役務費 1,127千円
 委託料 245,655千円
 使用料及び賃借料 26,393千円
 償還金、利子及び割引料 20千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

各自転車駐車場について、必要に応じ修繕を実施し適切な維持管理に努める。

新たな生活様式の定着に伴う利用状況の変化や駅周辺における民間駐輪場の整備状況等を踏まえ、定期・一時利用等の各収容台数の配分などについて検討する。

みどりのまちづくり基金積立事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5311,4111,5331

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市みどりのまちづくり基金条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

緑地の保全及び緑化の推進に必要な土地取得、良好な景観の形成又は生物多様性の保全に資する緑化を支援することにより、貴重な緑地の保全と緑化の推進が図られている。

事業内容【継続】

緑地の保全及び緑化の推進に必要な土地の取得、良好な景観の形成又は生物多様性の保全に資する緑化の支援等に要する財源に充てるため、基金を積み立てる。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・みどりのまちづくり基金募金活動の実施
- ・みどりのまちづくり基金PR活動の実施

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 募金活動件数	件	2 (1)	2 (2)	2 (1)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 寄附・募金金額	円	50,000 (517,154)	50,000 (564,483)	50,000 (6,555,000)	50,000 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	517	564	6,555	千円
人件費	1,164	1,551	1,514	千円
総計	1,681	2,115	8,069	千円

【財源内訳】・その他 6,555千円
【執行内訳】・積立金 6,555千円

財源(その他の内訳)
・ふるさと納税 536千円 ・募金箱寄附金 16千円・預金利息 3千円
・朝霞市根岸台5丁目土地区画整理組合清算人会より寄附 6,000千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

緑地の保全、緑化の推進に必要な土地の取得や良好な景観の形成、生物多様性の保全に資する緑化の支援に要するための財源を確保する必要があるため、寄附や募金を募集する。

緑化推進事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5311,4111,5121,5322

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

都市緑地法
朝霞市緑化推進条例
朝霞市生け垣等設置奨励補助金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

環境の保全、防災、景観の形成、レクリエーションなどの機能を持つ貴重な緑の減少に歯止めをかけ、現存する緑を保全するとともに、市街地における緑化を推進している。

事業内容【継続】

特別緑地保全地区等の維持管理と民間所有緑地の管理に対する支援を行うとともに、生け垣等設置の奨励などにより、緑化の推進を図る。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・緑化推進会議を1回開催
- ・緑化推進奨励金を交付
- ・特別緑地保全地区等を管理
- ・緑地管理ボランティアを支援
- ・市役所前池周辺他グリーンインフラ整備

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 保護地区追加指定箇所	箇所	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 R 7 年度
	② 生け垣等設置箇所	箇所	2 (1)	2 (2)	2 (1)	2 R 7 年度
成果	① 保護地区面積	ha	10 (9)	10 (9)	10 (9)	10 R 7 年度
	② 生け垣等の設置延長（累計）	m	560 (523)	600 (533)	600 (534)	600 R 7 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	24,814	44,497	27,174	千円
人件費	6,206	10,472	5,679	千円
総計	31,020	54,969	32,853	千円

【財源内訳】・一般財源 27,174千円
【執行内訳】・報酬 208千円 ・報償費 8千円 ・旅費 167千円
・需用費 350千円 ・役務費 380千円
・委託料 3,300千円
・使用料・賃借料 5,418千円
・工事請負費 2,310千円
・負担金、補助及び交付金 15,033千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

みどりの基本計画に基づき、市内に残る貴重な緑を継続的に保全していくため、市有地の緑地については、ボランティア団体などの市民等と連携をしながら管理していくとともに、民有地の緑地についても適切な支援のあり方について検討しながら取り組んでいく。

生産緑地管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5312,4111

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

生産緑地法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

残存する農地等が、生産緑地地区として適切に保全・管理されている。

事業内容【継続】

生産緑地地区の指定や解除、変更などの都市計画決定事務、生産緑地地区台帳の整理、指定に伴う標識の管理を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・都市計画決定変更回数 2回
- ・生産緑地指定標識等設置工事の実施（新設・変更による設置・撤去） 1回
- ・特定生産緑地について都市計画審議会へ意見聴取、特定生産緑地の指定公示

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 都市計画決定変更回数	回	2 (2)	2 (2)	2 (2)	R 7 年度
	② 台帳補正業務回数	回	1 (1)	- (-)	- (-)	R 7 年度
成果	① 指定地区数	箇所	2 (0)	2 (2)	2 (7)	R 7 年度
	②					R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	998	641	835	千円
人件費	5,042	5,042	4,922	千円
総計	6,040	5,683	5,757	千円

【財源内訳】・一般財源 835千円
 【執行内訳】・委託料 685千円
 ・工事請負費 150千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

生産緑地法の改正により、生産緑地地区の買取申請ができるようになるまでの30年の期限を10年ごとに先送りするとともに税制優遇も延長できる「特定生産緑地制度」が導入されました。生産緑地指定の30年経過後は特定生産緑地の指定を受けることができなくなることから、今までの意向調査の結果を踏まえて、回答を得られていない所有者への制度の説明等を経て、引き続き遺漏のないように指定手続きを進める必要がある。また、今後順次指定後30年を迎える生産緑地地区についても同様に特定生産緑地に指定できるよう、業務の進め方の簡易マニュアルやスケジュールの整理・作成等を行う必要がある。

（仮称）浜崎ふれあい公園新設事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

子どもからお年寄り、障害をお持ちの方から健康の増進に努めている方など、様々な方が交流でき、市民の意見を取り入れた公園を造ることにより、市民が快適に親しみを持って公園を使用している。

事業内容【継続】

四季を通じて楽しめる花壇や多目的スペースなどの整備を行うとともに、市民参画により計画をつくり、近隣公園の整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

公園予定地の地権者に、ご理解いただけない方が多いため、整備に向けた準備が進まない状況である。（一時中断中）

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① (仮称) 浜崎ふれあい公園整備	—	検討	検討	—	—
	②		()	()	()	R 7 年度
成果	① 1人当たりの公園面積（公園面積／人口）	m ²	2.19	2.20	2.20	2.20
	②		(2.19)	(2.12)	(2.15)	R 7 年度
			()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	388	388	0	千円
総計	388	388	0	千円

【財源内訳】
【執行内訳】

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

<説明>

都市公園の新設は公共性が高く、まとまった土地や整備が必要となることから、市が率先して建設に向けた関与をする必要がある。また、浜崎地域は規模の大きな公園が少なく、レクリエーションの拠点となる公園を整備するため、社会経済環境の変化等をふまえ継続的に取り組んでいく必要があると認識をしているが、公園予定地の地権者に、ご理解いただけない方が多いため、整備に向けた準備が進まない状況である。今後は、事業内容や規模の縮小や休止を含め検討する。

街区公園整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5413,5511,5512,5513

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市公園法
朝霞市都市公園条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

市民の意見を取り入れた公園を造ることにより、市民が親しみを持って快適に公園を使用しているとともに、災害時のオープンスペースが確保されている。

事業内容【継続】

市民参加により、計画をつくり、街区公園の整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

都市公園の設置には、用地の確保や地元の合意形成が必要なことから、整備が進まない状況となっている。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 街区公園整備箇所数	箇所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 1人当たりの公園面積（公園面積／人口）	m ²	2.19 (2.19)	2.20 (2.12)	2.20 (2.15)	2.20 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	776	776	0	千円
総計	776	776	0	千円

【財源内訳】
【執行内訳】

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

朝志ヶ丘、三原及び仲町地区において、公園が不足していること及び公園整備について、市民からの要望も多いため整備は必要と考えている。相続や開発行為等により、土地の活用が図られる機会を捉え、公園用地の確保に努める。

公園管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5323

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市公園法
朝霞市都市公園条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

維持管理を適切に行うことにより、市民が公園を安全かつ快適に使用している。

事業内容【継続】

都市公園の清掃、除草、遊具の点検、施設の修繕、樹木の管理、トイレ清掃等を実施する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・都市公園の維持管理
- ・ボランティア団体による維持管理

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 都市公園維持管理箇所数	箇所	36 (36)	38 (38)	39 (41)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	209,818	272,794	226,271	千円
人件費	5,818	5,818	5,679	千円
総計	215,636	278,612	231,950	千円

【財源内訳】・一般財源 226,271千円
 【執行内訳】・旅費 33千円・需用費 14,202千円・役務費 221千円
 ・委託料 171,736千円
 ・使用料及び賃借料 39,582千円
 ・原材料費 458千円
 ・負担金、補助及び交付金 39千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

引き続き指定管理者や管理を委託している業者と連携を図り、市民が公園を安全かつ快適に使用できるように、施設の管理を継続する。また、公園の日常管理を実施していただいている市民ボランティア団体の募集についても継続的に行う。

公園施設改修事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5613

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

公園施設の改修を行うことにより、市民が安全、安心に公園を利用しやすくなっている。

事業内容【継続】

都市公園の遊戯施設、休憩施設、修景施設、運動施設等の改修工事を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

公園施設長寿命化対策工事（あけぼの公園他3箇所：遊具更新工事）
 都市公園の改修工事全般
 ・遊戯施設、植栽、休養施設、管理施設等の改修工事

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 公園改修件数	件	35 (26)	35 (17)	35 (14)	R 7 年度
	② 公園改修対象箇所数	箇所	36 (36)	38 (38)	41 (41)	R 7 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	87,949	42,996	13,000	千円
人件費	7,757	6,981	4,922	千円
総計	95,706	49,977	17,922	千円

【財源内訳】・一般財源 13,000千円
 【執行内訳】・工事請負費 13,000千円

3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの
余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

公園施設長寿命化計画及び遊具等の点検結果に基づき、老朽化した公園施設の改修・更新を実施する。

児童遊園改修事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5613

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

児童遊園施設の改修を行うことにより、市民が安全、安心に公園を利用しやすくなっている。

事業内容【継続】

児童遊園地の遊戯施設、休憩施設、修景施設、運動施設等の改修工事を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

児童遊園地の改修工事全般
遊具施設、植栽、休養施設、管理施設等の改修工事

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 児童遊園改修件数	件	18 (5)	18 (5)	18 (4)	R 7 年度
	② 児童遊園改修対象箇所数	箇所	81 (81)	82 (81)	82 (82)	R 7 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	3,514	3,978	4,000	千円
人件費	5,818	3,491	5,679	千円
総計	9,332	7,469	9,679	千円

【財源内訳】・一般財源 4,000千円
 【執行内訳】・工事請負費 4,000千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

施設の点検業者や児童遊園地管理者と連携を図り、老朽化した施設や不具合が生じている施設の改修を速やかに実施する。

児童遊園管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

維持管理を適切に行うことにより、市民が児童遊園地を安全かつ快適に使用している。

事業内容【継続】

児童遊園地の清掃、除草、遊具点検、施設の修繕、樹木管理、トイレ清掃等を実施する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

- ・児童遊園地の維持管理（一部をシルバー人材センターに清掃等を委託）
- ・児童遊園地の一部をボランティア団体が管理

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 児童遊園維持管理箇所数	箇所	82 (81)	82 (81)	85 (82)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	58,836	58,922	57,823	千円
人件費	4,266	4,654	3,786	千円
総計	63,102	63,576	61,609	千円

【財源内訳】・一般財源 57,823千円
 【執行内訳】・需用費 3,563千円
 ・委託料 30,334千円
 ・使用料及び賃借料 23,926千円

3 今後の方向性

（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

児童遊園地の管理を委託している業者と連携を図り、市民が児童遊園地を安全かつ快適に使用できるように、施設の管理を継続する。また、児童遊園地の日常管理を実施していただいている市民ボランティア団体の募集についても継続的に行う。

花の植栽事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5321

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

四季を通じて楽しめる草花を植えることで、子どもからお年寄りまで様々な方が交流し、市民が親しみを持って使用している。

事業内容【継続】

わくわくどーむ前のふれあい広場への草花の植栽、花の種や球根を植え付け、花壇や広場の清掃、除草業務を実施する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

ふれあい花壇の維持管理業務

- ・シルバー人材センター 除草、清掃、樹木剪定、ゴミ収集業務
- ・社会福祉協議会 草花や球根の植付け、花の種子の播種、施肥、花壇内の除草、灌水業務
- ・市民ボランティア団体 ラベンダー畑の管理、剪定業務

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 花壇への草花の植付け回数	回	4 (4)	4 (4)	4 (4)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① ふれあい花壇における事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	6,457	6,517	6,540	千円
人件費	2,327	1,939	1,514	千円
総計	8,784	8,456	8,054	千円

【財源内訳】・一般財源 6,540千円
 【執行内訳】・委託料 6,357千円
 ・使用料及び賃借料 183千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

子どもからお年寄りまで様々な方が交流できる場を提供していくため、ボランティア団体の協力をいただきながら、シルバー人材センターによる広場の管理や社会福祉協議会による花壇の管理により、維持管理の行き届いた広場とする。

黒目川桜並木管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5321,5332

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

黒目川桜並木が適切に管理され、住民が黒目川に親しみ、楽しむことができる。

事業内容【継続】

桜の季節に提灯、灯籠、仮設トイレを設置し遊歩道を適切に管理することで、快適な環境をつくる。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

黒目川の桜の開花時期に合わせて、提灯や灯籠を適切に設置し、桜を楽しみの訪れる方々への一定の対応はできたと思われる。また、黒目川に設置されている健康遊具等の定期点検を実施し、適切に管理を行った。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 提灯設置		適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 R 7 年度
	② 仮設トイレ設置		適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 (コロナ対策で設置せず)	適切に設置 (未定)	適切に設置 R 7 年度
成果	① 黒目川花まつり来場者数(2日間)	人	6,000 (0)	6,000 (0)	6,000 (6,000)	6,000 R 7 年度
	② 黒目川桜並木における事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 R 7 年度

総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	3,560	2,987	5,443	千円
人件費	2,327	1,551	1,893	千円
総計	5,887	4,538	7,336	千円

【財源内訳】一般財源 5,443千円
 【執行内訳】委託料 5,333千円、工事請負費 110千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

昨年はコロナ禍のため花まつりは中止となったが、提灯等の設置は行った。今後においても、桜の開花時期に合わせて、提灯等を設置し、市民憩いの事業として行っていく。

景観まちづくり推進事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 都市計画係

1 基本分類

総合計画コード

5331,5332

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

景観法 朝霞市景観条例 朝霞市景観規則 朝霞市みどりのまちづくり基金条例 朝霞市みどりのまちづくり基金条例施行規則 朝霞市景観形成補助金交付に関する事務取扱基準

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

本市の自然環境や歴史的・文化的な資源を活かし、快適で活力ある住宅都市としての魅力を高めて発信することで、より多くの人々が朝霞に住み続けたい、訪れたいと感じるまちとなっている。

事業内容【継続】

本市の景観計画の周知を図るとともに、景観づくりの推進に向けて景観審議会の運営、景観づくり重点地区の指定等を行い、良好な景観形成を進める。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

・景観審議会を3回開催し、景観づくり重点地区（黒目川沿川エリア）及び景観重要公共施設（浜崎黒目橋）を指定し、運用を開始した。景観づくり団体は、景観審議会での意見聴取を踏まえ新たに5団体を指定した。景観重要樹木（まぼりひが公園ケヤキ）を新たに1本指定した。
 ・景観形成補助金（民都機構からの拠出金を活用）を120万円交付し、黒目川沿いに黒目川さくらテラスを設置した。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 景観に関する情報の発信（広報、HP等）	件	発信 (発信)	発信 (発信)	発信 (発信)	発信 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 景観に関するイベントの参加人数	人	25 (0)	30 (0)	20 (0)	30 R 7 年度
	② 景観づくり団体の認定数	数	2 (1)	3 (1)	1 (5)	3 R 3 年度

総コスト（事業費+人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	265	1,914	2,060	千円
人件費	13,949	11,248	15,523	千円
総計	14,214	13,162	17,583	千円

【財源内訳】一般財源260千円、その他1,800千円
 【執行内訳】報酬200千円、旅費60千円、負担金、補助及び交付金1,800千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

・引き続き、景観計画における景観づくりの基本理念の実現に向けて、計画を推進するとともに、景観審議会を適正に運営していく。また、景観審議会は、公募市民の枠を設け市民の視点から意見を伺うようにする。
 ・景観づくりに関する情報の発信、意識の啓発、知識の普及等に努めるとともに、景観づくり団体・景観重要建造物・景観重要樹木を継続的に公募していく。
 ・居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに向けて、景観の視点から検討するとともに、みどりのまちづくり基金を活用する景観形成補助金の運用を実施するなど、引き続き、市民等との協働による景観施策の推進を図っていく。景観に関するイベント開催については、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め実施について検討する。

水路管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5341

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

水路、谷津地調整池等が適切に維持管理され、水害から住民や住居を守ることができている。

事業内容【継続】

水路敷の維持管理。
 谷津地調整池の維持管理費の負担。
 野火止水使用組合の負担金。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】（実施内容及び進捗状況）

市民からの通報や職員のパトロールにて発見した水路に泥が堆積している箇所を業者へ清掃を委託した。清掃を実施することで水路機能を維持することができた。

指標名		単位	R1年度目標 (実績)	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 各負担金支出		適正に支出 (適正に支出した)	適正に支出 (適正に支出した)	適正に支出 (適正に支出した)	適正に支出 R 7 年度
	② 水路清掃件数	件	5 (1)	5 (2)	5 (2)	5 R 7 年度
成果	① 水路清掃要望箇所現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト（事業費＋人件費）と事業費の内訳

	R1	R2	R3(見込み)	
事業費	234	939	884	千円
人件費	1,551	2,327	1,514	千円
総計	1,785	3,266	2,398	千円

【財源内訳】一般財源 884千円
 【執行内訳】委託料 550千円、負担金、補助及び交付金 334千円

3 今後の方向性（必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください）

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き（業務プロセス）を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他

【今後の取組等】※その他にチェックした場合は、その内容も記入してください。

水路や柵の清掃など適切な管理に努めた。今後においても、水路等の清掃を適切に実施し、水害被害を予防していく。